

留学生実地見学旅行

<日時>2016年8月3日

<場所>横浜市民防災センター（横浜西口）

読売新聞本社（大手町）

<参加人数>計18名

<内容>

横浜市民防災センターは、横浜駅周辺の都市災害対応、市民への防災知識の普及啓発、備蓄物資・資機材の保管を主な目的として、昭和58年に開設されたセンターで、留学生と一緒に災害シアターや地震シミュレーター、減災トレーニングルーム等で実際の災害の状況をシミュレーションしながら、防災に対する知識を高めていく事ができました。

また、読売新聞本社においては、館内案内ビデオ鑑賞、編集局、「ニュースラボ」展示コーナーの見学を行いました。1台のタブレット端末を3人1組で使用し、新聞記者になって取材体験も行いました。成果物として、カラー印刷の新聞を作成しました。

これら体験学習を通じ、留学生、日本人学生ともに楽しく交流を図りながら学業の上でも新たな示唆を得る事ができました。

<見学の様子>

横浜市民防災センターにて



読売新聞東京本社にて



消火器を使った消火シミュレーション



気分は消防隊



新聞の歴史について勉強



タブレット PC を使った模擬取材体験

